

# 学校通信 ひがしやま 第72号

発行日 令和7年1月20日(月)  
発行者 別府市立東山幼稚園  
別府市立東山小学校  
別府市立東山中学校  
校(園)長 谷川 芳明

## ○雪のおみやげ(1/10)。

東山は、雪に覆われました。今年度初の大寒波到来。路線バスは通常運行。県教委に確認したところ休校は玖珠町の1校のみ(1/9 15時時点)。よって通常登校としました。

子どもたちから「去年より降雪時期は遅いけど、雪の量は多い」とありがたいご説明。



●左の画像は、朝6時の本校体育館前、マイナス8°Cの銀世界と子どもたちが作った雪だるま。大人は、ドキドキ、子どもたちは、雪合戦で朝からワイワイでした。



●あまりの寒さにプール一面、氷の世界。分厚い氷など、子どもたちにとっては、楽しい発見がいっぱい。

●1月15日(水)にも正午あたりから、まとまった量の降雪。2時間程度で雪だるまだが出現しました。子どもたちが雪で丸い縁を作っていたので、何かと尋ねたら、「かまくら」とのこと。縁だけで終了しました。未完成のバベルの塔が他にも複数ありました。

★★

## ○遠隔交流の実施について(1/17)



小学部3年生と4年生が「九重町立野矢小学校」(全校児童24人)の3年生及び4年生(計11人)と交流。小幡校長から「最初は緊張していたが、人が珍しいのでとても興奮していた。終わった後も、あんな子がいた、こんな子がいたと話が尽きなかった。ハンドボールに取り組んでいるという児童(本校の)の話に興味があったようだ」と。

当該校は山村留学を今年度から実施しており、九重町から月3万円の支給があるとのことです。

●交流風景。今回は自己紹介。次回は2月。互いの学校の様子を紹介します。